

順序	発 言 者		答弁を求める者	
	氏 名	会 派 名	市 長	市 立 病 院 長
11	せ ぐ ち 和 浩	無 所 属	関 係 局 長	

発言の要旨

1 鹿児島市のDX推進と情報産業発展について

- (1)マイナンバーカードを活用した市民サービスアプリの開発について
 - ①スマートフォンへのマイナンバーカード機能搭載の概要、活用シーン
 - ②スマートフォンのマイナンバーカードと市公式アプリの連携についての考え方
 - ③市公式アプリでの住民サービスアプリの統合についての考え方
 - ④地元IT企業との連携によるアプリ開発についての他都市の調査状況
 - ⑤他自治体へ販売するなど、マイナンバーカードを活用したビジネスモデル「made in かごしまDX」を試験導入する考え方

(2)鹿児島市DX推進計画について

- ①進捗状況（KPIと達成状況）
- ②次期計画策定に向けた取組とスケジュール
- ③市職員のDXスキル向上の取組内容
- ④デジタルツールを活用したインセンティブ付与の取組内容
- ⑤事業実施に当たっての補助金の活用の考え方
- ⑥DX関連事業の予算内訳やDX効果の可視化についての考え方

(3)情報産業発展の支援策について

- ①本市における情報産業支援策及び事業者のDX支援策の現状
- ②情報産業支援策（企業立地・人材育成）を振り返り、DX推進時代における今後の取組に対する考え方

2 高齢者の難聴対策及び補聴器購入支援制度の「モデル事業導入」について

- (1)難聴と認知症の因果関係に関する医学的知見を本市としてどのように受け止めているか
- (2)補聴器助成がなぜ全国で増えているのか、どのように分析しているか
- (3)中等度難聴者、MC1（軽度認知障害）の人数を今後把握していく考えがあるか
- (4)難聴がフレイルや認知症等のリスク要因となり得ることについての周知・広報
- (5)国に要望するだけではなく、モデル事業等の「市が動いている姿」を見せる考えはないか

3 子宮頸がんワクチン（HPVワクチン）について

- (1)本市の定期接種の現状について
 - ①積極的勧奨が再開されてからの定期接種の年度ごとの接種率（令和4～6年度）
 - ②接種率が低い要因をどのように分析しているか
- (2)保護者・対象者への周知方法と相談体制について
 - ①保護者や対象者へ周知する機会として学校と連携しているか
 - ②医師会と連携した相談会等の実施状況
 - ③現在の相談体制はどのようにになっているのか

(3)接種の環境整備・利便性向上について

- ①放課後や休日、夜間など、より接種しやすい時間帯の接種枠の確保の必要性
- ②接種勧奨やスケジュール管理などのデジタル化は検討していないのか

(4)キャッチアップ接種対象者への支援について

- ①キャッチアップ接種の年度ごとの接種率（4～6年度）
- ②キャッチアップ制度終了後の対応や本市独自の継続施策の検討状況

(5)接種率向上に向けた今後の取組（学校や医師会との連携など）

4 本市における医療DXの現状と今後の推進方針について

(1)国の医療DXの基本認識について

- ①「医療DX令和ビジョン2030」における国的目的に対する本市の認識
- ②目的達成のための手段（マイナ保険証・オンライン資格確認、電子処方箋、電子カルテ情報共有等）に対する本市の認識

(2)国の医療DX施策に対する本市の医療機関の現在の対応状況（オンライン資格確認、電子処方箋、電子カルテ及び情報共有サービス）

(3)鹿児島市立病院における医療DXと経営改善について

- ①市立病院において、今後計画的に医療DXを進めていくことに対する考え方
- ②医療DX投資の効果
- ③医療DXを単なる設備投資にとどめず、経営改善に活用する考え方

(4)国の財政支援を活用した医療DX支援策

(5)本市としての医療DX推進方針

順序	発 言 者		答弁を求める者	
	氏 名	会 派 名	市 長	関 係 局 長
12	山 下 要	自 民 党 市 議 団		

発言の要旨

1 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業の進捗状況について

(1)同事業の概要について

- ①背景及び目的
- ②市町村の役割と取り組むべき内容

(2)本市の取組について

- ①連携・推進体制（従前との違いを明らかに）
- ②健康課題の分析について
 - ア. 分析に活用する国保データベース（KDB）システムの概要
 - イ. 分析で得られた本市の健康課題
- ③分析に基づく具体的な実施状況について（従前との違いを明らかに）
 - ア. 高齢者に対する個別的支援（ハイリスクアプローチ）
 - イ. 通いの場等における健康教育、健康相談等（ポピュレーションアプローチ）
- ④取組成果
- ⑤課題と対応方針

2 剪定枝資源化事業について

(1)背景及び目的

(2)収集及び資源化の方法と収集量・経費・1キロ当たりの経費について

- ①令和2年度から4年度
- ②5年度から6年度（11月まで）
- ③6年度（12月から7年3月まで）

(3)収集量減少と経費増大の理由

- (4)7年度予算における収集量・経費・1キロ当たりの経費
- (5)現在の粉碎業務受託事業者からの要望内容と対応方針及びその理由
- (6)本事業の費用対効果に対する現状認識
- (7)ごみの減量化・資源化の推進という施策全体の目的を踏まえた改善策の検討を

3 路面電車観光路線検討事業について

(1)目的

(2)検討経緯

(3)本港区エリア全体の施設整備内容を見極めた上で行う費用対効果の検証について

- ①第2回路面電車観光路線基本計画策定委員会（令和元年度）との関係等について
 - ア. 同委員会がルート決定のために設定した評価項目
 - イ. 検証とは同委員会による評価を意味しているのか
 - ウ. 現状で検証を必要とする理由
 - エ. 検証の結果、事業中止もあり得るのか

②検証の開始時期等について

ア. 路面電車観光路線の運行開始までに要する業務及び期間

イ. スポーツ・コンベンションセンター等の供用予定時期との連携の考え方

③県及び鹿児島国際観光株式会社との調整状況

④検証に必要な本港区エリア全体の施設整備内容（不足情報）の具体及びその理由

(4)上振れが予想される事業費について

①平成24年度に整理された複数ルートの平均距離と概算事業費の平均

②同事業費を現行4ルート案の平均距離に当てはめた場合の数値

③昨今の物価・人件費等高騰の影響認識

(5)都市型自走式ロープウェイ（Z i p p a r）について

①輸送能力及び事業費

②他都市の動向

③本事業の検証と並行し、観光部局と連携して調査研究すべき

(6)市長の考え方について

①「選ばれるまち」にとっての本事業の意義

②本港区エリアへの公共交通アクセスの強化を通じて、同エリアのにぎわいを創出し、県が整備する施設の需要を増やすという主体性の発揮を

順序	発 言 者		答弁を求める者	
	氏 名	会 派 名	教 育 長	関 係 局 長
13	小森こういちろう	自 民 党 市 議 団		

発言の要旨

1 児童クラブについて

- (1)児童クラブの数（市設置と民間設置の数を令和3年度から5年間）
- (2)市設置と民間設置の違い（利用料金の平均月額と開所・閉所時間等）
- (3)校区内に民間設置の児童クラブしかない校区数
- (4)夏季休暇の料金（市設置の料金と民間設置の平均料金と一番高いクラブの料金）
- (5)市設置と民間設置の児童クラブの夏季休暇の料金の差額の要因
- (6)今後の児童クラブ設置計画
- (7)校区内に民間しかない校区に対して市設置の計画の有無
- (8)現状の夏季休暇の料金差を改善すべきと考えるが当局の見解

2 共同墓地について

- (1)市内の共同墓地の数
- (2)土地所有者が個人の共同墓地の数
- (3)共同墓地の整備等に係る本市の補助内容と令和6年度の件数
- (4)崖崩れ等により共同墓地が被災した場合、責任を負うのは土地所有者か管理組合か
- (5)共同墓地の土地の寄附についての市の対応
- (6)今後における本市の共同墓地の関わりについての見解

3 狹隘道路について

- (1)消防局における緊急車両が入りづらいエリアの把握状況とその対応
- (2)まごころ収集の件数の過去5年間の推移と狭い道への対応方法
- (3)建設局における建築行為に伴う市道後退用地整備事業の内容と過去5年間の件数（令和2年度から6年度まで）
- (4)市街化区域における里道を同事業の対象とすることへの見解
- (5)産業局における農道を対象とした検討状況

4 部活動の地域展開について

- (1)部活動の意義
- (2)部活動の顧問の決め方
- (3)地域の人材の活用状況
- (4)休日の取組方針
- (5)モデル事業での指導者の謝金の額
- (6)地域展開された際の保護者の経済的負担
- (7)学校部活動と地域クラブにおける用具等使用の在り方
- (8)地域展開された際の大会運営の在り方
- (9)地域展開された際の大会等への参加

5 土曜授業について

- (1)令和8年度からの土曜授業の方針
- (2)年間総授業時数の7年度と8年度の比較
- (3)回数を決めるのは誰か
- (4)新たな方針についての教員・保護者からの声
- (5)土曜授業だからできたこと
- (6)回数の違いが生じる可能性があり、不公平感が感じられるが、どのように払拭するのか

順序	発 言 者		答弁を求める者	
	氏 名	会 派 名	市 長	教 育 長
14	和 る り か	立 憲 社 民	関 係 局 長	

発言の要旨

1 市立小中学校における看護師資格を有する特別支援教育支援員について

(1)配置された背景

(2)利用状況と配置について

①看護師が対応している医療的ケア児の人数と学校数（過去5年間）及び今後の傾向

②看護師の人数と配置校（過去5年間）

(3)看護師の勤務態様について

①雇用形態

②勤務時間

③雇用主と賃金の考え方及び国の交付金

④休暇等の有無と取得状況及び課題

(4)職務について

①職務内容

②実施する医療的ケアの範囲

③宿泊を伴う校外学習についての現在の状況及び進める上での課題

(5)市教委の体制について

①採用までの流れ

②研修の有無と内容

③医師との連携

④看護師同士の連携

⑤学校との連携

⑥北九州市の医療的ケアの体制

⑦今後、医療的ケア学校コーディネーター等を配置することに対する市教委の考え方

2 学校給食費公会計化・徴収管理システムについて

(1)来年度から導入予定の徴収管理システムについて

①公会計と私会計の概要及び取り扱う費目

②徴収管理システムにおける口座振替の流れ（公会計・私会計ごとに）

③私会計の口座振替が特定の金融機関を経由する理由

④私会計の口座振替に係る経費と負担の考え方

⑤一律に徴収管理システムを導入することとした理由と効果

⑥未納者への対応及び学校との未納情報の共有

⑦今後のスケジュール

⑧人員配置の考え方

(2)今後、学校徴収金を公会計化することに対する課題

3 トイレの男女格差解消について

(1)川商ホール（市民文化ホール）のトイレの設置状況について

①男子トイレの小便器の基数及び洋式便器、和式便器の基数（第1ホール、第2ホール、市民ホール別に）

②女子トイレの洋式便器、和式便器の基数（第1ホール、第2ホール、市民文化ホール別に）

③混雑の状況と対応

④女子トイレにおける洋式便器、和式便器の配置図を表示することや空き状況を確認できるデジタルサイネージを設置することはできないものか

(2)学校におけるトイレの設置状況について

①男子トイレの小便器の基数及び洋式便器、和式便器の基数（小中学校別に）

②女子トイレの洋式便器、和式便器の基数（小中学校別に）

③児童生徒の男女別の人数（小中学校別に）

④学校施設における便器数の基準

(3)避難所のトイレについて

①「鹿児島市避難所運営マニュアル」におけるトイレの確保・設置の考え方

②2024年12月に改定された「避難所におけるトイレの確保・管理ガイドライン」（内閣府防災担当）におけるトイレ個数の基本的な考え方

③国のガイドラインの考え方を本市避難所運営マニュアルに盛り込むべきと考えるが見解

4 子ども学習・生活サポート事業について

(1)事業開始の背景と目的

(2)これまでの「学習会」の取組について

①事業内容

②どういった方が携わっているのか（募集方法と人数を含む）

③対象者

④参加者の交通手段

⑤参加者や保護者の声

⑥課題と評価

(3)今年度の拡充内容について

①拡充した経緯

②事業内容

③進捗状況

5 本市の環境政策について

(1)本市再生可能エネルギー活用計画について

①策定の背景と目的

②本計画における太陽光発電設備の位置づけ

(2)市有施設における太陽光発電設備について

①太陽光発電の導入計画

②既存施設に太陽光発電設備を設置する場合の費用と財源

③現在の設置数について

- ア. 施設屋根貸し
- イ. 学校施設を除く市施設
- ウ. 教育委員会の学校施設

④導入後のメンテナンス

⑤故障した場合の修理にかかる費用の財源

⑥故障により稼働していない太陽光発電設備の数と修理できていない理由及び故障したままの一番長い年数について

- ア. 学校施設を除く市施設
- イ. 教育委員会の学校施設

⑦耐用年数を過ぎて稼働しなくなった太陽光発電設備の今後の処分方法

(3)かごしま環境未来館について

①設置目的

②取組内容と評価

順序	発 言 者		答弁を求める者	
	氏 名	会 派 名	市 長	教 育 長
15	向 江 か ほ り	立 憲 社 民	関 係 局 長	

発言の要旨

1 病児・病後児保育について

(1) 現在までの利用状況（令和5、6年度）について

①利用児童数

②キャンセル待ちの数

(2) 対象施設について

①本市が委託している対象施設数

②定員数

③地域ごとの施設数

(3)さらなる施設確保が必要ではないか

(4)ネット予約サービスについて

①申請を行い確定及びキャンセル待ちから確定までの流れ

②予約確定やキャンセル待ちの返答時間の記載状況（施設ごと）

③利便性の向上を図るべき

2 船舶局について

(1)第2期鹿児島市船舶事業経営計画中、基本目標（環境にやさしい施策の推進）について

①重点取組項目

②具体的方策

③ゼロカーボンシティかごしまへの貢献の取組

④運航収益の約8割を占める車両収益が減少したことに対する分析、対応

(2)大型車両や大型バスを持つ本市の企業等に環境に配慮するために東九州自動車道での移動でなく乗船してもらう考えはどうか。また、ゼロカーボンシティかごしまの取組に当たるのか

(3)利用に賛同してくれる企業にポイントや優先的な配慮を考えられないものか

3 体育服のゼッケンと体育服での登下校について

(1)市立中学校の体育服へのゼッケンの着用状況

(2)登下校時、体育服を認めている市立中学校数と条件

(3)体育服のゼッケンの着用について

①見直した学校数

②見直しを行う予定の学校数

③見直しの主な検討内容

(4)体育服のゼッケンは不要ではないか

4 市政広報について

(1) 「第123号議案 令和7年度一般会計補正予算（第5号）」中、テレビ・ラジオ放送経費の債務負担行為について

①8年度の市政広報テレビ番組を見直した経緯

②今後のスケジュール

③過去3年間の視聴率と主なターゲット

④障害のある方に対しての考え方や発信の工夫の取組は盛り込むのか

(2) 本市の公式SNSアカウントの運用について

①本市の公式SNSアカウント数

②各課が行っているSNSの運用方針の有無

③市民の信頼を担保した今後の運用についての考え方

5 はたちの集いについて

(1) 実行委員会と本市の役割

(2) 今年度の式典内容と全体の流れの変更点の有無

(3) メイン会場に入らない参列者への対応

(4) 各種団体・関係部局との連携状況

(5) 中央公園の活用の有無

(6) 開催意義

(7) 会場選定を見直すべき

6 市道坂元日枝神社線について

(1) 道路の課題認識

(2) 地域からの要望とその後の対応

(3) 早期の着工をすべき